

産業文教常任委員会記録

1 委員会を開催した年月日、場所及び時間

令和7年6月16日（月曜日） 議会第1委員会室

午後1時30分 開議 午後2時37分 閉議

2 出欠委員の氏名

委員長 浜 名 等 (○)

副委員長 松 田 義 人 (○)

委 員 岡 本 佐 市 (○)

〃 寺 井 哲 也 (○)

〃 櫻 井 英 一 (○)

〃 新 田 義 昭 (○)

〃 浅 野 俊 二 (○)

議 長 山 本 泰 夫 (○)

3 傍聴した者 なし

4 出席した説明員

岸市長、川口副市長、八島教育長、前田産業建設部長、野崎危機管理監、山本農林水産課長、寺井商工観光課長、田中上下水道課長、西野生活安全課参事、岩本上下水道課参事、中島教育次長、関軒企画振興室長、西村生涯学習課長、牧山文化財課長、廣島スポーツ推進室長

※市長はあいさつ後、退室（午後1時32分）する。

5 出席した事務局職員

事務局長 木村 繁成、事務局次長 野崎 直美、係長 澤田 朋子

6 会議の概要

浜名委員長のあいさつにより会議を開く。以後、進行も行う。

岸市長からあいさつがなされ、その後、退室する。

次に、予算常任委員会における松永委員の質疑に対して、寺井商工観光課長から補足答弁がなされる。

次に、付託表に基づき執行部から説明を聴取し、その後、質疑・答弁がなされる。

終了後、採決に入り、議案3件、報告1件はいずれも賛成全員により可決または承認すべきものと決した。

次に、付託案件以外の委員会所管事項について、質問・答弁がなされる。

次に、委員会における継続調査の申し出を議長に提出すること、併せて、委員会報告については、委員長に一任することを決定する。

最後に、浜名委員長が閉会のあいさつをし、会議を閉じる。
詳細は、別紙「委員会審査結果」のとおり。

7 主な質疑・応答等

【付託案件等に対する主な質疑・答弁】

松田委員：給食業務委託契約の変更について、燃料単価の高騰が理由と説明された。人件費などは含まれていないのか。

中島教育次長：今回の変更は光熱費の高騰によるものであり、人件費などは考慮されていない。

松田委員：給食の原材料費は別の予算で計上されている認識でよいか。

中島教育次長：はい、原材料費は別予算で管理されている。

松田委員：給食の質を維持するためには、原材料の価格高騰も大きな課題である。今後、質の高い給食を維持するための課題についてどう考えているのか。

中島教育次長：予算要求時期と比べ、米は1食あたり6円、牛乳も約4円上がっている。冬場は葉物野菜が、生鮮食品全般も高騰した。米については通常米の供給は問題ないが、農林水産課の事業である自然栽培米の給食については、今年度に限っては、まだ一度も提供できていない。子どもたちが、自然栽培米という本市の特色ある米を食すことで食の文化に触れることができるが、収穫量は天候に左右されるため、安定供給に課題がある。

浅野委員：市やJAは自然栽培についてどう考えているのか。また、自然栽培米を子どもに届けるといふ市の方針はどうなったのか。

山本農林水産課長：令和6年産の自然栽培米は売り切れているが、7年産米の収穫後に給食提供を再開する予定である。JAが自然栽培をやめたわけではない。

浅野委員：事前の契約や確保が甘かったのではないか。7年産米は早めに確保しないとまた同じことになる。

山本農林水産課長：令和6年度は6回給食に使用した。7年度は現時点で米がなく、収穫を待っている状況だが、すでに希望は出している。

新田委員：自然栽培について、市が補助金や機械貸出などの支援をしてきたのに、今年度の給食に一度も使われていない点が気になる。補助を受けている以上、一定量を給食に出す契約を結ぶべきだと考える。

川口副市長：JAと取り決めて年6回の提供を基本としている。6年度分はすでに提供済みであり、7年度分はふるさと納税向けの出荷が先行して確保できなかったため、7年産米で改めて6回提供する予定である。また、補助制度もずっとではなく、自立を促すために期間を設けるなど、JAと連携して調整している。

新田委員長：現在、自然栽培米はどれくらい生産されているのか。

山本農林水産課長：今年度は約40トンの生産予定である。

【その他の主な質問・答弁】

櫻井委員：道の駅千里浜の拡張事業について、その概要と効果について教えてほしい。

寺井商工観光課長：物販スペースとストックヤードを拡張し、地元特産品の加工所も広げて開発を進める。特産品のブラッシュアップやPRにも注力し、今後の観光誘客や安定経営に繋げたい。

櫻井委員：地元産品の販売強化による地域経済の活性化が道の駅の重要な使命である。しっかりと効果が出るよう力を入れてほしい。次に、最近あまりジビエの話が聞かないが、地方創生総合戦略の一環として、働く場の確保や移住・定住促進を目指して進めてきたはずである。ジビエの現状と課題について教えてほしい。

山本農林水産課長：去年は約220頭の捕獲があったが、豚熱の影響で肉として加工されたのは74頭にとどまっている。課題は人手不足で、現在従業員は2人だが、現場は基本1人であり、マンパワーが不足している。

櫻井委員：10年前の地方創生総合戦略「がんばる羽咋創生総合戦略」では、良質な働く場の創出や定住促進を目標に掲げてきたが、今後この戦略をどう発展させていくのが重要である。ぜひ再検討して取り組みを進めてほしい。

川口副市長：自然栽培とジビエは本市独自の特色ある事業だが、それだけで移住・定住が進むわけではない。宅地造成や企業誘致、若い起業家の呼び込みなど複合的な施策が必要である。ジビエは豚熱の影響で生産が停滞している。市では捕獲事業を委託し運営を支援している。豚熱問題が解決すれば、活性化の可能性があると考えている。その間、人員確保の支援も強化していきたい。ジビエは総合戦略のエッジのきいた事業であり、今後も方向性を見直しながら推進していく。

新田委員：本市は児童数が少ない割に中学校2校、小学校4校と多く、全国的な少子化の流れを踏まえると、10年後の学校の在り方を議論しているか。

川口副市長：公共施設の在り方は「総合管理計画」に基づき、(1)施設数の抑制、(2)長寿命化、(3)民間活力の活用という三本柱で方針を定めている。学校施設は市の施設総面積の約半分を占める重要分野であり、教育環境を守りつつ、適正規模化を目指して計画的に進めていきたいと考えている。

八島教育長：10年先の児童生徒数を基に、統廃合を含む複数パターンのシミュレーションを行っている。邑知中学校はすでに1学年1クラスであり、教育環境が適正か検討しつつ、最適な学びの場を提供できるよう進めていきたいと考えている。

松田委員：教育環境に関連して、SSTRのゴールを使った小学校のマラソン大会は素晴らしかったが、中学校のマラソン大会が最近行われていない。また、相撲も以前は子ども相撲大会や中学校の相撲大会があった。復活する見通しはあるのか。

八島教育長：羽咋中のマラソン大会は現在も復活していない。ただし、教育委員会としては学校に働きかけており、千里浜を走ることが子どもたちにとって良い思い出

になると考えている。相撲については、コロナ禍以降中止が続き、相撲道場などの活動は続いているが、学校単位での実施は難しい状況である。

松田委員：千里浜でのマラソンや相撲文化は、羽咋市の誇れるふるさと教育の一環である。伝統を絶やさぬよう、神事相撲や教室などの継承に努めてほしい。また、今年策定するスポーツ推進計画の中で、相撲などの扱いはどうなっているか。

広島スポーツ推進室長：6月下旬～7月上旬に第1回審議会を開催予定で、その後、市民や保護者、スポーツ団体に向けて約2,000件のアンケートを実施予定である。相撲協会にも調査を行い、課題を把握したうえで計画を立てていきたい。

松田委員：3月議会で妙成寺周辺整備の俯瞰図作成と、町会との協議を進めるという話があったが、進捗はどうなっているか。

牧山文化財課長：現在、俯瞰図の下図を作成しており、地元町会などの意見も伺っている。これは確定的な計画ではなくイメージ図で、地域の皆さんに整備や活用のイメージを持ってもらいながら進めている段階である。町会とも相談を続けている。

浅野委員：伝統文化の継承に教育長の指導を期待する。学校の書初も、相撲やマラソンと同じように復活の可能性はあるか。

八島教育長：小学校では書初めは行っているが、羽咋中学校では実施していない。学校事情もあるため、今後学校と話し合いながら取り組んでいきたいと考えている。

新田委員：地震以外の雨漏りの修理に高額な費用を要し、小さい町には大きな負担となっている。市の補助はどのくらい出るのか。

川口副市長：会館の補修助成については、市単独は最大100万円である。全面的に修理する場合は県補助が使える場合もあり、新築なら宝くじ補助もある。

浅野委員：弘和会に関連する建物解体について、市は交付決定していると聞くが、この補助金は7年度に繰り越しになるという理解でよいか。

前田産業建設部長：はい。空き家再生推進事業で申請・交付決定はしているが、まだ交付はされておらず、繰り越しとなっている。

浅野委員：補助金が支払われる可能性があるのか。税金の無駄遣いという印象がある。第三者委員会を設けての返金の動きや、金沢弁護士会に調査依頼していると聞く。市の指導問題も問われている。調査結果の発表時期を明確にしてほしい。

川口副市長：現段階ではお答えできない。

浅野委員：浜茶屋組合について、組合員は何人で、今後の対応はどうなるのか。

寺井商工観光課長：組合員は山田屋さん1人と認識している。今後は、今年度の状況を見て判断する。

令和7年第3回定例会議案付託表

産業文教常任委員会

番号	議案番号	議 件
1	議案第33号	羽咋市給水条例の一部改正について
2	議案第34号	羽咋市公共下水道条例の一部改正について
3	議案第36号	市道路線の認定について
4	報告第13号	羽咋市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について

令和7年第3回定例会議案報告表

産業文教常任委員会

番号	議案番号	議 件
1	報告第20号	「業務委託契約の締結について」の一部変更について
2	報告第21号	「業務委託契約の締結について」の一部変更について